

7-9-7 土壤動物

1. 現況把握

(1) 調査概要

土壤動物に係る調査内容は、表 7-9-7.1 に示すとおりである。

表 7-9-7.1 土壤動物に係る調査内容

調査項目	調査方法	調査地点・エリア	調査頻度・時期等
土壤動物	ハンドソーティング法、ツルグレン法	対象事業実施区域及びその周辺 200m の環境類型及び土壤環境を考慮の上 3 地点	3 季/年 (初夏・夏・秋季)



土壤動物：ハンドソーティング法

(2) 調査地点

土壤動物に係る調査地点は、図 7-9-7.1 に示すとおりである。

(3) 調査時期

土壤動物に係る調査時期は、表 7-9-7.2 に示すとおりである。

表 7-9-7.2 土壤動物に係る調査時期

調査項目	調査方法	調査頻度・時期等	調査実施日
土壤動物	ハンドソーティング法、ツルグレン法	3 季/年	初夏季：令和 3 年 6 月 7～8 日 夏季：令和 3 年 8 月 30～31 日 秋季：令和 3 年 10 月 7～8 日

(4) 重要な種の状況

重要な種の選定基準は、「7-9-1 哺乳類」と同じとした。

(5) 注目すべき生息地

注目すべき生息地の選定基準は、「7-9-1 哺乳類」と同じとした。

(6) 外来種の状況

外来種の選定基準は、「7-9-1 哺乳類」と同じとした。

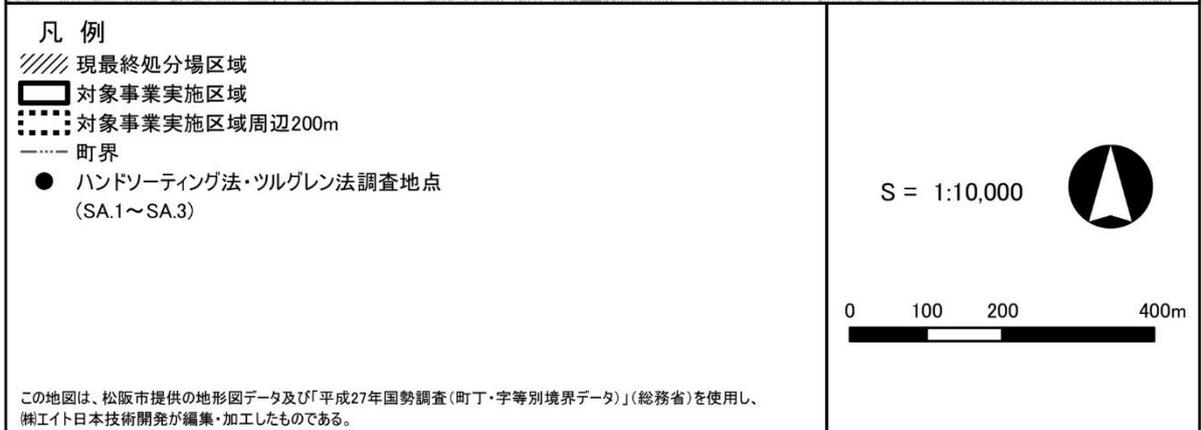
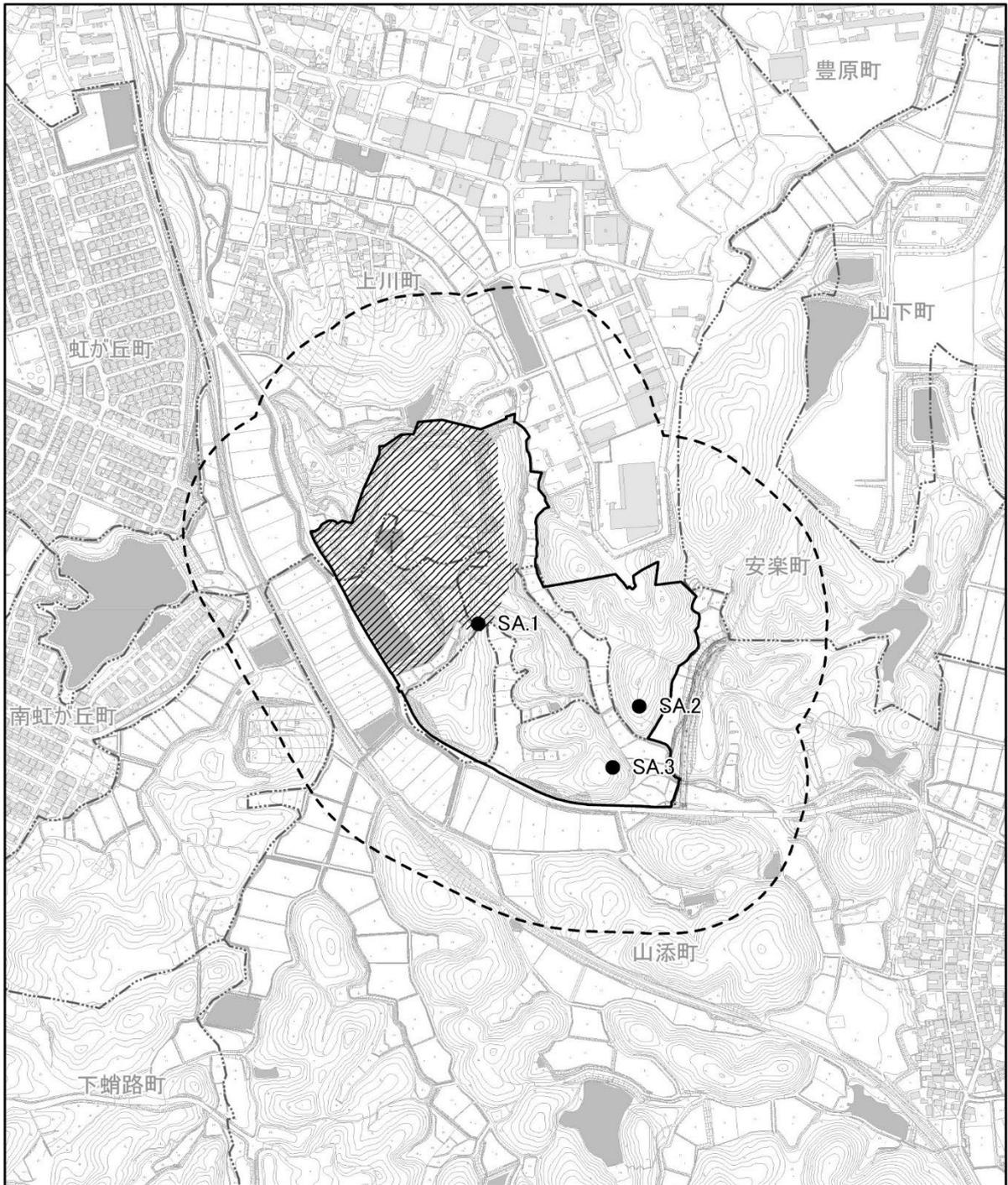


図 7-9-7.1 土壌動物調査地点位置図

2. 調査結果

(1) 土壌動物の生息状況

対象事業実施区域及びその周辺で確認された土壌動物は、表 7-9-7.3(1)(2)に示すように 8 綱 23 目 89 科 134 種であり、主に県内の平地から樹林にかけて生息分布するものであった。なお、重要な種及び外来種は確認されなかった。

(2) 調査地点別の確認状況

土壌動物は、対象事業実施区域内の森林植生 3 地点から生息状況を把握した。生息状況で見ると、各森林植生における確認種数としては、70～80 種前後と大きな違いは見られず、日射量の多いコナラ群落（落葉広葉樹林）の確認種数（SA.2）が最も少なかった。

調査地点ごとの確認状況を表 7-9-7.4(1)(2)に示す。

① SA.1（落葉・常緑広葉樹林：混交林）

現最終処分場の東側尾根部の山林で、コナラ群落の中にクスノキ、ミミズバイ、カクレミノ、ヤツデなどの常緑樹が混生する。尾根部の勾配が緩く林床には落葉が堆積し、林内は日照量の少ない薄暗い環境となっている。

3 季を通して 31～49 種で計 83 種が確認された。自然林や二次林などに生息するフトゲナガヒワダニや堅い体表構造により踏圧に強いツノコソデダニなどのダニ目の種が多く確認された。

② SA.2（落葉広葉樹林：コナラ群落）

対象事業実施区域東側の斜面中腹部のコナラ群落である。低木類から亜高木類が繁茂し林床には落葉が堆積する。他の森林植生に比べ林内への日射量が多く、林床はやや乾燥気味であった。

3 季を通して 26～40 種で計 70 種が確認された。様々な環境に幅広く生息するナミツブダニや落葉の分解初期段階に出現し、分解とともに減少するツチトビムシ科の種が多く確認された。

③ SA.3（スギ・ヒノキ植林）

対象事業実施区域南側の丘陵地に分布するスギ・ヒノキ植林である。植林に覆われ林内の日照量は少ないが、山斜面上部でもあり乾燥気味の林床であった。

3 季を通して 28～44 種で計 80 種が確認された。腐敗植物や哺乳類などの糞を餌とするケバエ科の種が多く確認された。また、SA.2 と同様に落葉の分解初期段階に出現し、分解とともに減少するツチトビムシ科の種が多く確認された。

表 7-9-7.3(1) 土壌動物の確認種一覧表

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査時期		
						初夏季	夏季	秋季
1	ミズ綱	イトミズ目	ヒメミズ科	ヒメミズ科	Enchytraeidae Gen. sp.	●	●	●
2		ツツミズ目	ツツミズ科	Allolobophora属	Allolobophora sp.	●		
3	クモガタ綱	カニムシ目	コケカニムシ科	オウコケカニムシ	Parobisium magnum			●
4			—	カニムシ目	Pseudoscorpionida Fam. Gen. sp.		●	
5		サトウムシ目	アカサトウムシ科	コアサトウムシ	Proscotolemon sauteri		●	
6		ダニ目	マルノコダニ科	Zercon属	Zercon sp.	●	●	●
7			キツネダニ科	Veigaia属	Veigaia sp.	●	●	●
8			ヤドリダニ科	Vulgarogamasus属	Vulgarogamasus sp.	●	●	●
9			ツブゲダニ科	Gamasiphis属	Gamasiphis sp.		●	
10			ハエダニ科	Holostaspella属	Holostaspella sp.		●	●
11			ホコダニ科	Holaspulus属	Holaspulus sp.	●		●
12				Neparholaspis属	Neparholaspis sp.	●	●	●
13				Holaspina属	Holaspina sp.	●	●	●
14			イトダニ科	イトダニ科	Uropodidae Gen. sp.	●	●	●
15			マダニ科	マダニ科	Ixodidae Gen. sp.			●
16			テングダニ科	Bdella属	Bdella sp.	●		
17			ヨロイダニ科	Mahunkiella属	Mahunkiella sp.		●	●
18				Nicoletiella属	Nicoletiella sp.	●		
19			タカラダニ科	タカラダニ科	Erythraeidae Gen. sp.		●	
20			ゲダニ科	Dromeothrombium属	Dromeothrombium sp.			●
21			ナミケダニ科	Microtrombidium属	Microtrombidium sp.	●	●	●
22			ヒワダニ科	フトゲナガヒワダニ	Eohypochthonius crassisetiger		●	●
23				ヒメナガヒワダニ	Eohypochthonius parvus	●		
24			ツツハラダニ科	ケバカツツハラダニ	Vepracarus hirsutus	●		
25			ヘソイレコダニ科	Rhysotritia属	Rhysotritia sp.		●	●
26				ヒメヘソイレコダニ	Rhysotritia ardua	●		
27				ウスイレコダニ	Acrotritia sinensis	●		
28				Acrotritia属	Acrotritia sp.			●
29			イレコダニ科	クゴウイレコダニ	Plonaphacarus kugohi		●	
30			アミメオニダニ科	エゾアミメオニダニ	Nothrus ezoensis	●		
31				Nothrus属	Nothrus sp.		●	
32			ツキノワダニ科	ホソツキノワダニ	Nippohermannia parallela	●		
33			ニオウダニ科	カノウニオウダニ	Hermannia kanoi		●	●
34			ウススタカダニ科	ツボウスタカダニ	Neoliodes alatus			●
35			クモスケダニ科	ヤマトクモスケダニ	Eremobelba japonica	●		
36				ミナミクモスケダニ	Eremobelba okinawa	●	●	●
37			ツブダニ科	ヤマトクモツブダニ	Multioppia yamatograccilis	●		
38				ナゴヤコブツブダニ	Medioxvoppia nagovae	●		
39				ナミツブダニ	Oppiella nova	●		●
40				ミヤヒロズツブダニ	Cycloppia restata		●	
41				ナミヒロズツブダニ	Cycloppia simplex	●		
42				ツブダニ科	Oppiidae gen. sp.		●	●
43			マドダニ科	キヨスミマドダニモドキ	Suctobelbilla kyosumiensis			●
44				Suctobelbilla属	Suctobelbilla sp.	●		
45				オオマドダニ	Allosuctobelba grandis			●
46				タムラマドダニ	Suctobelbilla tanurai		●	
47				キバマドダニ	Suctobelbilla longidentata	●		
48			イブシダニ科	ナカタマリイブシダニ	Yoshiobodes nakatamarii		●	
49				ダレコダニ	Nippobodes latus	●	●	●
50			イブシダニ科	Yoshiobodes属	Yoshiobodes sp.	●		
51			オトヒメダニ科	ヤリオトヒメダニ	Ischeloribates lanceolatus	●		
52				Scheloribates属	Scheloribates sp.			●
53			コソダニ科	マルコソダニ	Peloribates acutus	●	●	●
54				ツノコソダニ	Rostrozetes ovulum		●	●
55		クモ目	ヨリメグモ科	ヨロイヒメグモ	Comaroma maculosa		●	
56			ハタケグモ科	ハタケグモ	Hahnha corticicola			●
57			カニグモ科	カニグモ科	Thomisidae Gen. sp.		●	
58			—	クモ目	Araneae Fam. Gen. sp.	●	●	●
59	ムカデ綱	イシムカデ目	イシムカデ科	Monotarsobius属	Monotarsobius sp.	●		●
60		オオムカデ目	オオムカデ科	アオズムカデ	Scolopendra subspinipes japonica		●	
61		ジムカデ目	ナガズジムカデ科	ナガズジムカデ科	Mecistocephalidae Gen. sp.	●		●
62	コムカデ綱	—	—	コムカデ綱	Symphyla Fam. Gen. sp.		●	
63	ヤスデ綱	オビヤスデ目	—	オビヤスデ目	Polydesmida Fam. Gen. sp.		●	●
64		—	—	ヤスデ綱	Diplopoda Fam. Gen. sp.	●		
65	軟甲綱	ワラジムシ目	フナムシ科	ニホンヒメフナムシ	Ligidium japonicum	●		
66			コシロダンゴムシ科	Spherillo属	Spherillo sp.	●		●
67	内顎綱	トビムシ目	ムラサキトビムシ科	ムラサキトビムシ科	Hypogastruridae Gen. sp.	●	●	●
68			シロトビムシ科	シロトビムシ科	Onychiuridae Gen. sp.	●	●	●
69			イボトビムシ科	イボトビムシ科	Neanuridae Gen. sp.	●		
70			ツチトビムシ科	Folsomia属	Folsomia sp.	●	●	●
71				Desoria属	Desoria sp.		●	
72			トゲトビムシ科	ヒメトゲトビムシ	Tomocerus varius		●	●
73				キノシタトゲトビムシ	Tomocerus kinoshitai		●	
74				クロヒゲトゲトビムシ	Tomocerus violaceus		●	
75				Tomocerus属	Tomocerus sp.	●		
76			アヤトビムシ科	Entomobrya属	Entomobrya sp.			●
77				ヒメカギツメハゴロトビムシ	Pseudosinella tridentifera	●		
78			—	マルトビムシ亜目	Symphyleona Fam. Gen. sp.	●	●	
79		カマアシムシ目	—	カマアシムシ目	Protura Fam. Gen. sp.		●	
80		コムシ目	ナガコムシ科	ナガコムシ科	Campodeidae Gen. sp.		●	●
81			ヒメハサミコムシ科	ナミヒメハサミコムシ	Paraipyx isaellae	●		
82				Paraipyx属	Paraipyx sp.		●	

表 7-9-7.3(2) 土壌動物の確認種一覧表

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査時期		
						初夏季	夏季	秋季
83	昆虫綱	ゴキブリ目	チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ	<i>Blattella nipponica</i>		●	
84		アザミウマ目	—	—	—	—	●	
85		カメムシ目	ナガカメムシ科	オオモンシロナガカメムシ	<i>Metochus abbreviatus</i>		●	
86			ツチカメムシ科	ツチカメムシ科	Cydnidae Gen. sp.		●	
87			—	カイガラムシ上科	—	Coccoidea Fam. Gen. sp.		●
88		チョウ目	ヒョウタンナガカメムシ科	ヒョウタンナガカメムシ科	Rhyparochromidae Gen. sp.		●	
89			ヒロズコガ科	ヒロズコガ科	<i>Tineovertex melanochruseus</i>		●	
90		—	チョウ目	—	Lepidoptera Fam. Gen. sp.		●	●
91		ハエ目	ケバエ科	ケバエ科	Bibionidae Gen. sp.		●	
92			ミズアブ科	ミズアブ科	Stratiomyidae Gen. sp.		●	●
93			アブ科	アブ科	Tabanidae Gen. sp.		●	
94			アシナガバエ科	アシナガバエ科	Dolichopodidae Gen. sp.		●	●
95			ショウジョウバエ科	ショウジョウバエ科	Drosophilidae		●	●
96	クロバネキノコバエ科		クロバネキノコバエ科	Sciaridae Gen. sp.		●	●	
97	タマバエ科		タマバエ科	Cecidomyiidae Gen. sp.		●	●	
98	シギアブ科		シギアブ科	Rhagionidae Gen. sp.		●	●	
99	—		ハエ目	—	Diptera Fam. Gen. sp.		●	
100	コウチュウ目		オサムシ科	クロスホナシゴミムシ	<i>Perigona nigriceps</i>		●	●
101		—	チビミスギワゴミムシ	<i>Polydorus microsopicus</i>		●	●	
102		タマキノコムシ科	Pseudocolenis属	<i>Pseudocolenis</i> sp.			●	
103		ムクゲキノコムシ科	Cissidium属	<i>Cissidium</i> sp.			●	
104		—	ムクゲキノコムシ科	Ptiliidae Gen. sp.		●	●	
105		ハネカクシ科	Cephennodes属	<i>Cephennodes</i> sp.		●	●	
106			ハネカクシ科	Staphylinidae Gen. sp.		●	●	
107		コガネムシ科	コガネムシ科	Scarabaeidae Gen. sp.		●		
108		コメツクムシ科	コメツクムシ科	Elateridae Gen. sp.		●	●	
109		ジョウカイボン科	ジョウカイボン科	Cantharidae Gen. sp.			●	
110		ベニボタル科	ベニボタル科	Lycidae Gen. sp.		●	●	
111		オオキノコムシ科	オオキノコムシ科	Erotylidae Gen. sp.			●	
112		ケンキスイ科	Epuraea属	<i>Epuraea</i> sp.			●	
113		—	マルキマダラケンキスイ	<i>Stelidota multiguttata</i>			●	
114		ハムシ科	ハムシ科	Chrysomelidae Gen. sp.			●	
115		ゾウムシ科	ホソゲチビツゾウムシ	<i>Trachyphloeosoma advena</i>			●	
116			フトゲチビツゾウムシ	<i>Trachyphloeosoma roelofsi</i>			●	
117		イネゾウムシ科	イネミスゾウムシ	<i>Lissorhoptrus oryzophilus</i>			●	
118		—	ヒラタムシ上科	Cucujoidea Fam. Gen. sp.			●	
119		—	ゾウムシ上科	Curculionoidea Fam. Gen. sp.			●	
120	—	カブトムシ亜目	Polyphaga Fam. Gen. sp.		●	●		
121	ハチ目	アリ科	ナカスジハリアリ	<i>Brachyponera nakasui</i>		●	●	
122		—	コツノアリ	<i>Carebara yamatonis</i>		●	●	
123		—	キイロシリアゲアリ	<i>Crematogaster osakensis</i>		●	●	
124		—	ハヤシクロヤマアリ	<i>Formica havashi</i>		●	●	
125		—	ニセハリアリ	<i>Hypoponera sauteri</i>		●	●	
126		—	トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>		●	●	
127		—	アメイロアリ	<i>Nvlanderia flavipes</i>			●	
128		—	テラニシハリアリ	<i>Ponera scabra</i>			●	
129		—	アミメアリ	<i>Pristomyrmex punctatus</i>			●	
130		—	トフシアリ	<i>Solenopsis japonica</i>		●	●	
131		—	ヒラタウロコアリ	<i>Strumigenys canina</i>		●		
132		—	ウロコアリ	<i>Strumigenys lewisi</i>			●	
133		—	Strumigenys属	<i>Strumigenys</i> sp.			●	
134		—	ハリアリ亜科	Ponerinae Gen. sp.		●		

確認種数:8綱23目89科134種

初夏季 66種 夏季 74種 秋季 70種

注1 ●:確認 空白:未確認

注2 綱の配列は「文部省・日本動物学会, 1988. 動物分類名. 所収 学術用語集動物学編(増訂版), pp. 1062-1100. 丸善, 東京」(文部省・日本動物学会, 昭和63年)に準拠した。

注3 昆虫類及びクモ類の種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト令和3年度版」(国土交通省, 令和4年)に準拠した。

注4 その他分類群の種名及び配列は「日本産土壌動物 第2版」(青木, 平成27年)に準拠した。

表 7-9-7.4(1) 調査地点ごとの確認状況

No.	綱名	目名	科名	種名	調査地点															
					SA.1 落葉・常緑広葉樹林(混交林)			SA.2 落葉広葉樹林(コナラ群落)			SA.3 針葉樹樹林(スギ・ヒノキ植林)									
					初夏季	夏季	秋季	初夏季	夏季	秋季	初夏季	夏季	秋季							
1	ミミズ綱	イトミミズ目	ヒダミミズ科	ヒダミミズ科																
2			ツリミミズ科	Allolobophora属	2	4	1			3	1								3	
3	クモガタ綱	カニムシ目	コケカニムシ科	オウコケカニムシ																
4			—	カニムシ目															1	
5		ザトウムシ目	アカザトウムシ科	コアカザトウムシ																1
6		ダニ目	マルノコダニ科	Zercon属	1	2	1			1									3	
7			キツネダニ科	Veigania属	1	1	1			1									2	2
8			ヤドリダニ科	Vulgarogamasus属		2	2			5	4			1	2				1	
9			ツツゲダニ科	Gamasiphis属			1													
10			ハエダニ科	Holostaspella属						1	2									
11			ホコダニ科	Holaspulus属	2		1													
12				Neparholaspis属		5	11			2	2	5	2							
13				Holaspina属	18	19	14	2	24	57	3	20	71							
14			イトダニ科	イトダニ科	1		4	3	8	20	3	8	3							
15			マダニ科	マダニ科			1													1
16			テンゲダニ科	Bdella属															1	
17			ヨロイダニ科	Mahunkiella属			1												2	
18				Nicoletiella属															1	
19			タカラダニ科	タカラダニ科						1									1	
20			ケダニ科	Dromeothrombium属			1													
21			ナミケダニ科	Microtrombidium属			1	1											1	1
22			ヒワダニ科	フトゲナガヒワダニ			2	50			1									2
23				ヒメナガヒワダニ																
24			ツツハラダニ科	ケブカツツハラダニ	1															
25			ヘソイレコダニ科	Rhysotritia属			3	53			12								30	56
26				ヒメヘソイレコダニ															1	
27				ウスイロヒメヘソイレコダニ	12					9									18	
28				Acrotritia属																
29			イレコダニ科	クゴウイレコダニ			1				1									
30			アミオダニ科	エゾアミオダニ															9	
31				Nothrus属							3									
32			ツキノワダニ科	ホソツキノワダニ															1	
33			ニオウダニ科	カノウニオウダニ			5			6									19	5
34			ウスダカダニ科	ツボウスタカダニ			1				1									
35			クモスケダニ科	ヤマトクモスケダニ															1	
36				ミナミクモスケダニ	7	8	41			10	8	9	5	17	1					
37			ツブダニ科	ヤマトモウツブダニ															1	
38				ナゴヤコブツブダニ	10															
39				ナミツブダニ						47		2	10		1					
40				ミヤヒロスツブダニ															1	
41				ナミヒロスツブダニ						1					1					
42				ツブダニ科			3	24			2									3
43			マドダニ科	キヨスミマドダニモドキ				6												
44				Suctobelbilla属															1	
45				オオマドダニ								2								
46				タムラマドダニ							1									
47				キバマドダニ															1	
48			イブシダニ科	ナカタマリイブシダニ			1													
49			ダイクダニ科	ダルクダニ	1		4		1	3	5	1								
50			イブシダニ科	Yoshihodes属															1	
51			オトヒメダニ科	ヤリオトヒメダニ	4														1	
52				Scheloriabates属						28	12								1	
53			コソデダニ科	マルコソデダニ	9		8		3	1	6	2	61	5						
54				ツノコソデダニ			22	76	1	1	6	2	61	5						
55		クモ目	ヨリメグモ科	ヨロイヒメグモ							1									
56			ハタケグモ科	ハタケグモ							1									
57			カニグモ科	カニグモ科															1	
58			—	クモ目			1	1											1	1
59	ムカデ綱	イシムカデ目	イシムカデ科	Monotarsobius属						1										
60		オオムカデ目	オオムカデ科	アオズムカデ			1													
61		ジムカデ目	ナガズジムカデ科	ナガズジムカデ科	2		1	1	1											
62	コムカデ綱	—	—	コムカデ綱			1				2								6	
63	ヤスデ綱	オビヤスデ目	—	オビヤスデ目			8	10			2								13	1
64		—	—	ヤスデ綱																
65	軟甲綱	ワラジムシ目	フナムシ科	ニホンヒメフナムシ						1										
66			コンピロダンゴムシ科	Spherillo属	6		2												1	
67	内顎綱	トビムシ目	ムラサキトビムシ科	ムラサキトビムシ科	1		11	4	3	2									1	1
68			シロトビムシ科	シロトビムシ科			23	14											14	8
69			イボトビムシ科	イボトビムシ科				2											1	
70			ツチトビムシ科	Folsomia属	79		3	8	108	418	46	237	531							
71				Desoria属			3													
72			トゲトビムシ科	ヒメトゲトビムシ			1	1											1	1
73				キノシタトゲトビムシ							1									
74				クロヒゲトゲトビムシ			1													
75				Tomocerura属																
76			アヤトビムシ科	Entomobrya属				1			1									
77				ヒメカギゾメハゴロモトビムシ						1										
78			—	マルトビムシ亜目	1														2	
79	カマアシムシ目	—	—	カマアシムシ目			3													1
80	コムシ目	ナガコムシ科	ナガコムシ科	ナガコムシ科				2		4										10
81		ヒメハサミコムシ科	ヒメハサミコムシ科	ナミヒメハサミコムシ	1														2	
82				Parajapyx属			1			1									1	

表 7-9-7.4(2) 調査地点ごとの確認状況

No.	綱名	目名	科名	種名	調査地点										
					SA.1 落葉・常緑広葉樹林(混交林)			SA.2 落葉広葉樹林(コナラ群落)			SA.3 針葉樹樹林(スギ・ヒノキ植林)				
					初夏季	夏季	秋季	初夏季	夏季	秋季	初夏季	夏季	秋季		
83	昆虫綱	ゴキブリ目	チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ											
84		アザミウマ目	—	アザミウマ目				1	1			1			
85		カメムシ目	ナガカメムシ科	オオモンシロナガカメムシ	1										
86			ツチカメムシ科	ツチカメムシ科									1		
87			—	カイガラムシ上科					15						
88			ヒョウタンナガカメムシ科	ヒョウタンナガカメムシ科	2										
89		チョウ目	ヒロスゴガ科	ヒロスジキヒロソゴガ	1										
90		—	チョウ目	—			2		2					2	
91		ハエ目	ケバエ科	ケバエ科	—									16	
92			ミスアブ科	ミスアブ科	—		1	2							
93			アブ科	アブ科	—	2									
94			アシナガバエ科	アシナガバエ科	—		1			1	1				
95			ショウジョウバエ科	ショウジョウバエ科	—			1		1	2			1	
96	クロバネキノコバエ科		クロバネキノコバエ科	—			1		1				2	16	
97	タマバエ科		タマバエ科	—				2		1		5	3		
98	シギアブ科		シギアブ科	—			1			1					
99	—		ハエ目	—									1		
100	コウチュウ目		オサムシ科	クロソホナシゴミムシ	—	1								1	1
101		—	チビミズキワゴミムシ	—										7	
102		タマキノコムシ科	Pseudocolenis属	—			1								
103		ムクゲキノコムシ科	Cissidium属	—							1				
104		—	ムクゲキノコムシ科	—		1	4								
105		ハネカクシ科	Cephenodes属	—					2	4				3	
106		—	ハネカクシ科	—		2	3	1	1	3			2	4	
107		コガネムシ科	コガネムシ科	—									2		
108		コムツキムシ科	コムツキムシ科	—	1					2	2		1		
109		ジョウカイボン科	ジョウカイボン科	—						1					
110		ベニボタル科	ベニボタル科	—			1	2						2	
111		オオキノコムシ科	オオキノコムシ科	—		1									
112		ケンキスイ科	Epurea属	—			1								
113		—	マルキマダラケンキスイ	—			1				1				
114	ハムシ科	ハムシ科	—						1						
115	ゾウムシ科	ホソグチビツゾウムシ	—			1		2	1						
116	—	フトゲチビツゾウムシ	—		2				1						
117	イネゾウムシ科	イネミズゾウムシ	—									1			
118	—	ヒラタムシ上科	—			1									
119	—	ゾウムシ上科	—									1			
120	—	カブトムシ亜目	—		1		1	1							
121	ハチ目	アリ科	ナカスジハリアリ	—		2			1	1				3	
122		—	コツアリ	—						1			1	26	
123		—	キイロシリアゲアリ	—	1		1			2					
124		—	ハヤシクロヤマアリ	—				1							
125		—	ニセハリアリ	—	1	2		3	9	4	5			2	
126		—	トビイロケアリ	—	3						2				
127		—	アメイロアリ	—			3							1	
128		—	アラニシハリアリ	—		1							1		
129		—	アミアリ	—					3						
130		—	トフシアリ	—	2		4	11				22	16		
131		—	ヒラタウロアリ	—	1										
132		—	ウロコアリ	—		1									
133		—	Strumigenys属	—			2	1						2	
134		—	ハリアリ亜科	—	1										
確認種数: 8綱23目89科134種					31種	38種	49種	26種	40種	39種	44種	41種	28種		

注1) 数字: 確認個体数 空白: 未確認
 注2) 綱の配列は「文部省・日本動物学会, 1988. 動物分類名. 所収 学術用語集動物学編(増訂版). pp. 1062-1100. 丸善, 東京」(文部省・日本動物学会, 昭和63年)に準拠した。
 注3) 昆虫類及びクモ類の種名及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト令和3年度版」(国土交通省, 令和4年)に準拠した。
 注4) その他分類群の種名及び配列は「日本産土壌動物 第2版」(青木, 平成27年)に準拠した。

(3) 重要な種及び注目すべき生息地

重要な種及び注目すべき生息地は確認されなかった。

(4) 外来種の確認状況

外来生物法及び外来種リストに該当する種は確認されなかった。

3. 予測・環境保全措置及び評価

土壌動物に係る予測概要は表 7-9-7.5 に示すとおりである。

表 7-9-7.5 土壌動物に係る予測手法

影響要因	予測項目	予測事項	予測方法	予測地域	予測対象時期等
工事の実施	土壌動物相及びそれらの生息環境	工事の実施による影響	予測対象種の生息環境や生息地と事業計画を重ね合わせ、その改変程度を整理し、予測対象種の生息に及ぼす影響の程度を事例の引用若しくは解析により、定性的に予測	調査地域と同様の地域	工事による影響が最大となる時期
土地又は工作物の存在及び供用	重要な種及び注目すべき生息地	土地又は工作物の存在及び供用による影響			事業活動が定常状態となる時期

(1) 予測内容

予測項目は、重要な種及び注目すべき生息地は確認されなかったことから、以下の項目とした。

- 土壌動物（土壌動物相）及びそれらの生息環境への影響

(2) 予測対象時期

予測対象時期は、工事の実施は工事による影響が最大となる時期とし、土地又は工作物の存在及び供用は事業活動が定常状態となる時期とした。

(3) 予測地域

現地調査の範囲と同様に対象事業実施区域及びその周辺約 200m の範囲とした。

(4) 予測方法

予測方法・内容は、表 7-9-7.6 に示すとおりとした。

表 7-9-7.6 予測方法・内容

時 期	予測方法・内容
工事の実施	① 樹木の伐採・処理、建設機械による土地造成による影響 樹木伐採や建設機械の稼働による土地造成により、谷津田や山林の一部が消失する。土壌動物（土壌動物相）に与える直接的な影響の度合いについて、土地利用計画との重ね合わせにより、その改変の程度などについて定性的に予測した。
土地又は工作物の存在及び供用	① 工作物（処分用地、調整池）の存在による影響 処分場となる造成地や調整池のような工作物の存在による植生及び土地利用の出現（供用）について、土壌動物相に与える直接的な影響の度合いについて、土地利用計画との重ね合わせにより、その改変の程度などについて定性的に予測した。

(5) 予測結果

① 土壌動物及びそれらの生息環境への影響【工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用】

対象事業実施区域の主要環境の改変状況を見ると、山林（コナラ群落、モウソウチク植林、スギ・ヒノキ植林）は 10.07ha から 5.45ha に減少し、工事着工に伴い樹木の伐採、建設機械による土地造成により、山林の生息環境は改変され、一部の個体に影響が生じるものと考えられる。しかし、残置森林には、各森林植生が残存することから、各調査地点で確認種は生息可能であり、土壌動物相の全体としては工事の実施による影響は小さいものと考えられる。

供用後は、対象事業実施区域内では残置森林として 5.45ha の山林が残存し、各森林植生が成立し、その林床は土壌動物の生息環境になるものと考えられる。ただし、供用後に出現する造成法面と山林との境界部は日光の直射や風の差し込みなどによって、林床部の生息環境が変化する可能性が考えられる。

表 7-9-7.7 工事の実施に伴う対象事業実施区域の森林植生の変化

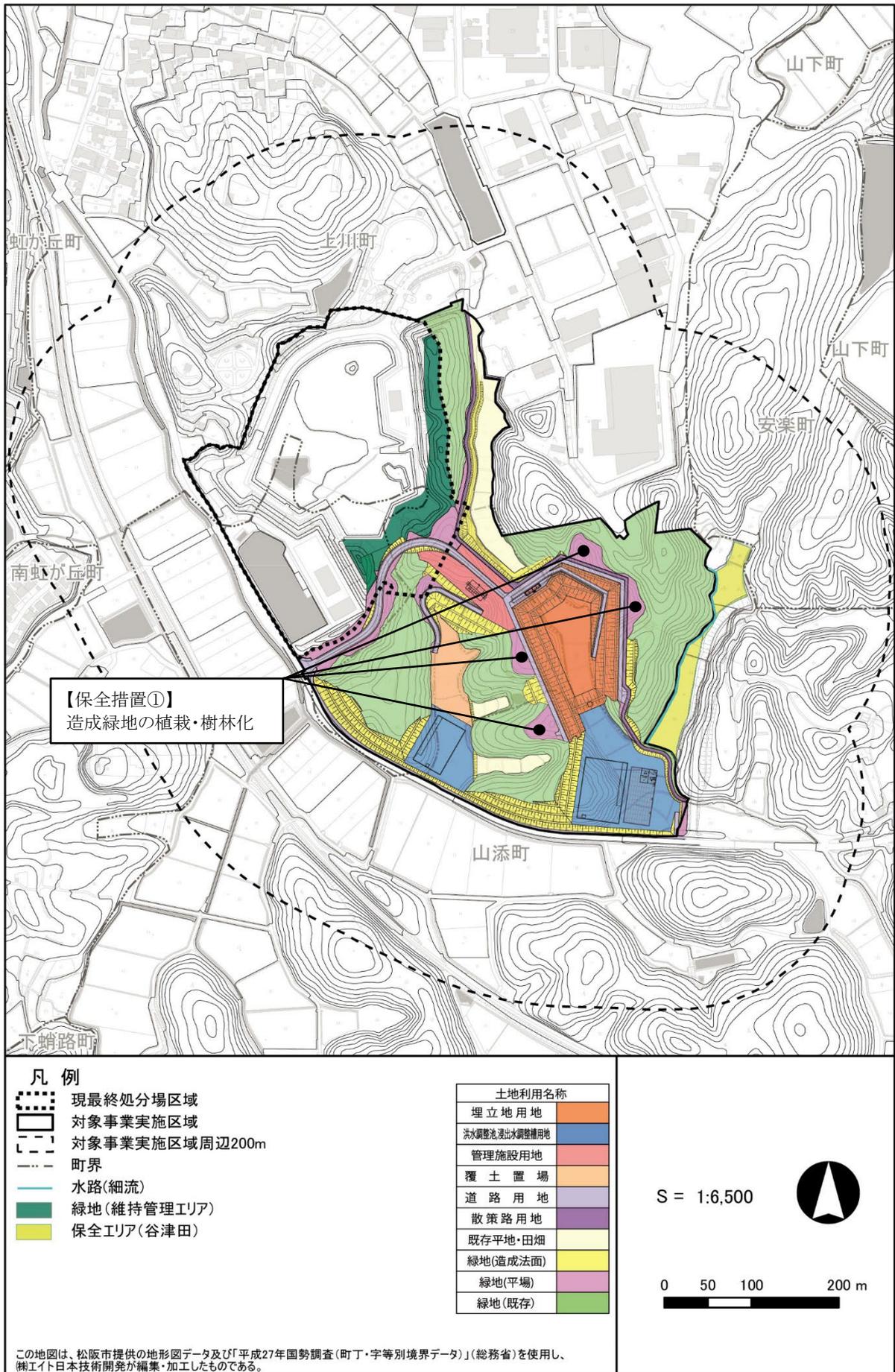
群落名	対象事業実施区域			
	現況面積 (ha)	供用後面積 (ha)	増減面積 (ha)	改変減少率 (%)
コナラ群落	6.49	3.32	-3.10	-47.8
マダケ植林	-	-	-	-
モウソウチク植林	1.61	0.50	-1.11	-68.9
スギ・ヒノキ植林	1.97	1.38	-0.59	-29.9

(6) 環境保全措置

以下に示す環境保全措置を実施する。

表 7-9-7.8 土壌動物に係る環境保全措置①の検討結果

影響要因	工作物の存在
環境保全措置	造成法面、造成緑地の地域性種苗（郷土樹種）による植栽・樹林化を図り、周辺と調和した植生帯を形成するとともに、林内環境の変化を軽減する。
環境保全措置の効果	植栽による樹林化により土壌動物の生息環境を創出し、境界部の林内環境の変化を軽減できる。
検討結果 (不確実性)	植栽による樹林化が生息環境の創出、境界部の林内環境の変化を軽減できることから実施する。



7-9-7.2 土壌動物に係る環境保全措置の概要図

(7) 評価結果

残置森林にはタイプの異なる森林植生を含む山林が残存し、現最終処分場東側の落葉広葉樹林では、草刈りによる維持管理のなされた山林が形成されることになる。環境保全措置として、造成法面・造成緑地の植栽を行うこととしている。よって、土壌動物の生息環境への影響は、事業者の実施可能な範囲で、回避又は低減が図られるものと評価される。